

国際交流研究科国際交流専攻

2024 年度 入学試験問題（小論文）

（一般入試第Ⅲ期）

小論文問題

以下の設問（1）～（4）の中から2問を選択し、それぞれに別の解答用紙を使って解答しなさい。なお、解答にあたっては、選択した問題番号を明記しなさい。

- (1) デジタル社会の進化、AIの普及、ビジネスの多様化などを背景に、社会におけるDX（Digital Transformation）の普及が急速に進んでいる。その最先端を行くのがデジタルにおけるプラットフォーム・ビジネスを優位に展開する米国と中国で、その中心が米国のGAFAと中国のBATHである。米国と中国から1社ずつ選び、ビジネスモデルの独自性と、それによる顧客側の利便性について具体的に説明しなさい。
- (2) 日本の国政選挙において小選挙区制と比例代表制の両方を採用している理由を説明しなさい。
- (3) 東京都心、臨海地域、駅前周辺など、都内のさまざまなエリアで、都市機能や住環境の改善を目的として再開発プロジェクトが進んでいる。たしかに再開発には、まちの利便性がアップする、街並みが整備される、安全が確保される、街がブランド化し、資産価値が上がるなどのメリットがあるが、しかし反対にデメリットもあると言われる。ではどのようなデメリットがあるか、3つ挙げて、説明しなさい。
- (4) 令和6年能登半島地震では、ボランティア自粛論が広がり、被災地支援の初動が遅れたと言われている。この点に関して、ボランティアの特徴を指摘しながら、あなたの考えを述べなさい。